

ふれあい情報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)

■発行人 羽山 治美

■編集人 林 道寛

■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

TEL:03-5295-0507 FAX 03-5295-0541

<e-mail>taisyo Kusharengo@sv.rengo-net.or.jp

<ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

2014年9月24日(水)

第152号

2014 全国高齢者集会



元気にデモ行進

(前列左から和田副会長、萩森さん、阿部会長、白井副会長、川島副会長。9月15日、銀座4丁目・外堀通り)

集団的自衛権行使容認の閣議決定

阿部会長、政府に撤回を要求

○豆辞典<敬老の日>

1966年9月15日、「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長老を祝う」ことを目的に日本独自の国民の祝日になりました。その後の祝日法改正で実施日は、9月15日ではなく9月第3月曜日となり、現在に至っています。

平和なくして社会保障なし

敬老の日の九月一五日(月)、退職者連合は「生き生きと安心して暮らせる社会にしよう」をメインスローガンに午後一時から、都内千代田区にある日比谷公会堂で2014年全国高齢者集会を開きました。集会には、全国から会員二千人が参加、阿部保吉会長はあらためて平和の大切さを訴えました。来賓では、連合の神津里季生事務局長、民主党の海江田万里代表、社民党の福島瑞穂副党首がそれぞれあいさつ。続いて中央労福協、労金協会、全労済の各代表が紹介されました。集会は最後に「平和な社会の実現に向けて力をあわせて闘い進んでいく」(要旨)とのアピールを全員で採択。集会終了後、参加者は元氣よく都内をデモ行進(写真上)しました。

主催者あいさつの冒頭、例年以上に平和問題に強く阿部保吉会長は、東日本大震災の復興と再生、福島原発事故の解決と現状回復、被災者の生活再建などを被災者の生活再建などを政府に強くせよと述べ、摘、「退職者連合の運動の基調は平和なくして社会保障なしだ」と述べ、集団的自衛権行使容認を閣議決定した安倍総理の姿勢を追及。

会長あいさつの特徴は、「我が国の平和と民主主義



阿部会長

が脅かされている」と警鐘を鳴らしました。

さらに会長は、「私たちは、戦争の悲惨さを身をもって体験した世代。退職者連合は愚かな戦争の根を断つためにも集団的自衛権行使容認の閣議決定を直ちに撤回するよう求める」と語気を強めました。

連合の呼びかけに応え、労働法制改悪阻止の全国行動を

会長は、今秋から年末にかけての取り組みとして、①先の通常国会で強行成立された介護の要支援打ち切りについて、移行先の自治体におけるその実態点検・検証および地域包括ケアシステムの構築について②低所得高齢単身女性問題につ

いて、こうした課題での自治体要請行動を取り組むこと提起しました。

さらに会長は、秋の臨時国会にも触れ、解雇ルールや労働時間ルールの規制緩和、派遣法改悪を政府が目論んでいると批判。「労働者の雇用の改善なくして社会保障はない」と強調。

「これを許せば格差社会が拡大するばかりか、社会保障制度の安定的な持続は困難」として、「STOP THE 格差社会！」キャンペーン第3弾の行動を取り組む連合の要請に応じて、「退職者連合も全国で労働法制の改悪を阻止する行動に決起しよう」と訴えました。

(会長あいさつの全文は、退職者連合HPPをご覧ください。)

集会の基調

七つの重点取り組みを

集会の基調報告では羽山治美事務局長が登壇。①「3・11東日本大震災」を風化させない活動②政治課題の取り組み③社会保障関係要求実現の取り組み④低所得高齢単身女性

問題への取り組み⑤地域・地区組織の確立と強化、社会貢献活動への取り組み⑥組織強化・拡大の取り組み⑦「原子力エネルギーに依存しない社会」の実現を目指す取り組み、など七点について二〇一四年度の重点活動とすることを報告しました。



(写真右)会場は、全国から参加した会員2,000人で一杯となり、盛り上がりを見せた。ステージは、退職者連合本部役員、来賓・報告者のみなさん。(9月15日、日比谷公会堂)

地域からの報告



安藤勝夫さん



升田正通さん

昨年から始まった地域からの報告では、はじめに東日本大震災の被災地三県を代表して岩手県退職者連合の安藤勝夫会長が、復興・再建の現状を報告。安藤さんは「復興・復旧を合言葉にきたが、ほとんど進んでいない。現地は(大震災を)風化させないために頑張っている」とあらためて支援を訴えました。

続いて社会貢献活動の取り組みとして愛媛高退連の萩森和子副会長と山口高退連合の升田正通会長が報告。萩森さんは、地元の園児や小学生への絵本の読み聞かせボランティア活動の内容をやさしい語り口調で紹介し、活動を通じた仲間づくりの大切さも教えてくれました。

また連合山口とともに、山口県にある秋吉台の山焼き延焼防止草刈りボランティアに取り組んできた山口高退連合を代表して升田正通会長が報告。升田さんは、活動が



萩森和子さん

十年間も続いていること、連合とともに現・退一致で取り組むことの重要性を強調しました。

集会は、みんなの手作り

多くの仲間たちの応援や支えで今年も元気に高齢者集会ができました。(写真で紹介)

参加者の手荷物を預かる連合本部のみなさん。全国から集まる会員は、どなたも大荷物。デモに出る前に、ここで預けないと大変です。



第2部では、参加者全員の合唱で平和の大切さを訴えました。写真はリードする日本音楽協議会(連合の仲間たち)のみなさん。



「野の花会」は、月平均2〜3回、高齢者施設などへ民謡踊りの出前公演しているボランティア歴15年の「昔娘4人組」。オープニングでの踊りの披露に、会場内は、開会前から大いに盛り上がりました。



全労済常務執行役員
阿部田 克美
労金協会常務理事
安藤 栄二
中央労福協事務局長
大塚 敏夫

協賛団体のみなさん。労福協、労金、全労済は、退職者連合が地域で共に活動する上で、大切な仲間です。

来賓あいさつ (要旨)

連合・神津事務局長



真に働くもの、生活者、退職者の視点に立って反転攻勢のステップを開始しよう。外に向かつて運動のうねりをつくって行く。みなさんの参加と激励をお願いしたい。引き続き連合と退職者連合との現・退一致の運動を追求していきたい。

民主党・海江田代表



①暮らし、社会保障と消費税
②介護③雇用④年金⑤集団的自衛権問題、これらを秋の臨時国会の大きなテーマにしたい。来年4月の統一自治体議員選挙は大事だ。後がない。地域でみなさんのパワーをいただき、民主党を立て直していきたい。お力添えを。

社民党・福島副党首



平和と憲法問題、派遣法など労働法制の改悪、労働者切り捨てが秋の臨時国会だ。介護からの要支援切り捨ては、高齢者いじめ。安倍内閣は戦後最悪。こんな内閣を許してはならない。今こそ本当にがんばり時だ。安倍政権を打倒すべく一緒に大きな運動のうねりをつくっていききたい。

外に向かつて運動のうねりつくる

秋の臨時国会で自民と対峙

大きな運動で最悪の安倍政権打倒へ

全国高齢者集会アピール

2014年7月1日は、一つの内閣によって戦後日本の歴史が捻じ曲げられた「悪しき記念日」となった。安倍政権が集団的自衛権行使を容認するための憲法解釈の変更を閣議決定した日である。それは自衛隊の海外での武力行使に道を開くもので、一貫して「専守防衛」を堅持してきたわが国の安全保障政策を根底から覆しかねないものである。それだけではない。安倍政権は特定秘密保護法の強行可決や武器輸出3原則の事実上の解禁、日米防衛協力のためのガイドライン協議の開始、加えて言論支配をねらったNHK経営委員、会長人事を行うなど、集団的自衛権行使容認に伴う国会論議を先送りしながら、既成事実をどんどん積み重ねている。

一方で、最優先課題であるはずの東日本大震災からの復旧・復興への足取りは重く、福島第1原発事故の処理も遅々として進んでいない。にもかかわらず安倍総理は経済最優先、原子力の平和利用を進めるとして原発の再稼働に固執し、他国への売り込みに精を出している。

わが国は、核兵器保有国以外ではウラン濃縮や再処理などの技術をもつ唯一の国である。そしてまた、わが国は人類史上唯一の原爆被爆国であり、どの国よりも核兵器の悲惨さ、凄まじさを知っている。私たちはいま、あらためて原子力の平和利用という言葉をしつかりと吟味・検証しつつ、これまで守り通してきた平和への姿勢を決して変えさせてはならない。集団的自衛権行使への執拗なまでの執着や、武器輸出3原則を「防衛装備移転3原則」などと言い換えて国民の疑念をかわそうとする現政権の政治手法を見ると、私たちはそのことに限りない不安と不気味さを禁じ得ない。

加えて国民生活に目を転ずれば、雇用・労働法制の改悪で不安定雇用労働者、低賃金労働者の増加には歯止めがかからず、年金・医療・介護など社会保障給付の引き下げと負担増が高齢者の暮らしを圧迫している。円安・株価頼みの偏った経済運営と消費税増税で中小企業者は喘ぎ苦しみ、生活保護受給者は160万世帯・217万人を超え、過去最多記録を更新し続けている。

退職者連合は、このように平和を脅かし国民生活を不安・苦境に陥れる自・公政権と厳しく対峙し、誰もが生き生きと安心して暮らせる平和な社会の実現に向けて、連合をはじめ思いを同じくする勢力と力をあわせて闘い進んで行く。

2014年9月15日

退職者連合2014全国高齢者集会